

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21464
事業名	駒岡破砕工場運営管理費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 駒岡清掃工場				
	課長名	富樫 隆徳	担当者名	豊田 臣憲	電話番号	011-582-9733
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input checked="" type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他
	目的	短期	プラント設備、同付帯設備の運転及び機器の維持管理・保守・点検・修繕を行う			
		長期	市域内から発生する一般廃棄物(粗大ごみ・大型ごみ)及び破砕が必要な可燃性事業系一般廃棄物を焼却に適するよう前処理を行う。			
	取組内容	<p>【目的】市域内から発生する一般廃棄物(粗大ごみ・大型ごみ)及び破砕が必要な可燃性事業系一般廃棄物を、焼却に適する様に前処理を行う。</p> <p>【内容】大型ごみ等を円滑に破砕処理するため、破砕設備の運転管理及び機器の維持管理を行う。</p> <p>①プラント設備、同付帯設備の運転 設備の円滑な運転を行う(業務委託により実施)</p> <p>②プラント設備、機器の維持管理 保守・点検・修繕を行う</p>				
実施結果	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく一般廃棄物(可燃ごみ)の適正な破砕処理を保つため、プラント設備等の効率的な運転と適性な維持管理を行った。					
事業実施における工夫点	施設の老朽化が進む中で、工場設備の処理能力を維持しつつ、ごみの適正処理を行っていくためには、適切な整備・保守を行っていく必要があるが、実施内容を精査し経費の圧縮に努めた。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及び、同施行規則					
他都市の状況	他都市の同種施設においても、各設備の維持管理に務め、施設全体の定格能力の確保を図るため、日常的な点検・整備と老朽化した設備の更新が逐次実施されている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	205,308	211,118	220,806	213,743	
うち特定財源	79,732	211,118	211,118	213,743	
人工	1.0	10.0	0.0	1.0	
人件費	7,200	72,000	0	7,200	
計(事業費+人件費)	212,508	283,118	220,806	220,943	
事業費の内訳	令和3年度決算	需用費(5,089千円) 運転管理・定期整備委託料(215,448千円) その他(269千円)			
	令和4年度予算	需用費(4,041千円) 運転管理・定期整備委託料(209,556千円) その他(146千円)			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	破砕量(t)(破砕工場総計)			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
		47,679	45,482	17,261	17,436	
活動指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2		指標名				
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	大型ごみ等を滞りなく適正に破砕処理することができた。 また、破砕処理したごみの中から、金属を回収し資源化を行った。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	破砕工場に求められる機能である破砕量は、いずれも計画に対し十分な実績をあげており、適正な事業水準である。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ごみの破砕処理は、大型ごみ等を適切に処理するために、欠かせない工程であり、一部を委託により維持管理していく必要がある。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市内域の一般家庭から排出される一般廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、市町村に処理責務があり、当該事業は大型ごみ等について、関係法令を遵守しつつ、衛生的に処理するもので、市民生活には不可欠な事業となっている。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映					
今後の改善点	工場設備の老朽化が進む現状においては、今後も引き続き工場の処理能力を維持するために、適切で純正な整備・保守等を計画的に行う必要がある。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	施設の老朽化が進む中で、設備の処理能力を維持し、ごみの適切処理を行うために、適切な整備や保守を継続的に行う必要があるが、実施内容を精査し経費の圧縮に努めた。			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	大型ごみ等の適正かつ安定的な処理体制を維持しながら、新たなごみ処理施設の整備計画の策定や今後の工場の運用計画等の検討に合わせて、より効果的な運営体制の検討・見直しを進めていく必要がある。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 プラントの安全運転と安全確保のための整備等に際しては、将来の駒岡清掃工場更新計画にも配慮して取り込む。				
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 施設の老朽化が進み整備保守等が必要となり、経費の増加を見込まれるが、極力事業の効率化及び計画的な整備を図り、経費削減に取り組む。			見直し効果額	0